

概要 (P l an)	事業概要													
	管理番号	178	事務事業名	産業創出事業	総合計画 体系	章 5	節 5	分野 5	施策 5	重点P IV-1				
	事業概要	産業振興や雇用拡大による地域活性化推進のため、同志社などとの産学連携や起業家支援施設(D-egg)への入居あっせんや入居費を補助。市内ものづくり系中小企業のデータベース化を進め、販路拡大や技術交流を活性化							担当所属	産業振興課				
	取組実績													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 産学連携コーディネート業務委託事業 			<ul style="list-style-type: none"> 起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 産学連携コーディネート業務委託事業 			<ul style="list-style-type: none"> 起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 産学連携コーディネート業務委託事業 			<ul style="list-style-type: none"> 起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 産学連携コーディネート業務委託事業 			
	事業実績	<p>○起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 ・同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を目的とし、D-egg入居者の入居費の一部を助成した。(10件 2,459千円)</p> <p>○起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 ・D-egg退去後の企業の市内立地を目的とし、市内テナント等の賃料の一部を助成した。(1件 250千円)</p>			<p>○起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 ・同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を目的とし、D-egg入居者の入居費の一部を助成した。(9件 2,648千円)</p> <p>○起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 ・D-egg退去後の企業の市内立地を目的とし、市内テナント等の賃料の一部を助成した。(1件 600千円)</p>			<p>○起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 ・同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を目的とし、D-egg入居者の入居費の一部を助成した。(10件 2,419千円)</p> <p>○起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 ・D-egg退去後の企業の市内立地を目的とし、市内テナント等の賃料の一部を助成した。(1件 900千円)</p>			<p>○起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業 ・同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を目的とし、D-egg入居者の入居費の一部を助成した。(9件 2,029千円)</p> <p>○起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業 ・D-egg退去後の企業の市内立地を目的とし、市内テナント等の賃料の一部を助成した。(1件 525千円)</p>			
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	指標	産学連携コーディネーター相談件数			目標	4	4	4	4					
	単位 件				実績	3	2	10	2					
	指標	産学連携コーディネーター企業訪問件数			目標	130	130	130	130					
	単位 件数				実績	290	219	256	259					
	指標	新たに、市内工業地域に立地した企業とD-eggに入居した企業の数			目標	2	5	8	10					
	単位 事業者				実績	4	8	10	12					
	取組評価													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)					
		備考												
	次年度以降の対応													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	2次評価	次年度 への方 向性	B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)		A. 拡充 (コストを増加させる)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)					
		備考												

概要 (P l an)	事業概要											
	管理番号	42	事務事業名	地球温暖化対策推進事業	総合計画体系	章 2	節 3	分野 1	施策 IV-2	総コスト 13,255		
	事業概要	温室効果ガスの排出削減に向け、住宅用蓄電池・太陽光発電システム設置の補助、COOL CHOICE普及啓発を図るなど、市民、事業者、行政が相互に連携しながら、再生可能エネルギーの利用や省エネルギー化を促進						担当所属	環境課			
	取組実績											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催（2回） ・家庭のエコ支援補助金 ・COOL CHOICE普及啓発委託業務 ・京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定版中間見直し業務 			<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催（4回） ・家庭のエコ支援補助金 ・京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定版中間見直し業務 		<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催（1回） ・家庭のエコ支援補助金 			<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催（1回） ・家庭のエコ支援補助金 ・温室効果ガス排出量算定評価委託業務 		
	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○京田辺市地球温暖化対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム設置に対し補助金を交付した。 ・COOL CHOICE普及啓発事業を実施した。 ・京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定版の中間見直し業務 ・委託事業者を選定して委員会の開催、アンケート調査など実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ○京田辺市地球温暖化対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム設置に対し補助金を交付した。 ・COOL CHOICE普及啓発事業を実施した。 ・京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定版の中間見直し業務 ・委託事業者を選定して委員会の開催、アンケート調査など実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ○第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策普及啓発事業を実施した。 ・COOL CHOICE普及啓発事業を実施した。 ・第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定した。 			<ul style="list-style-type: none"> ○第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策普及啓発事業を実施した。 ・COOL CHOICE普及啓発事業を実施した。 ・第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定した。 	
					年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	指標	温室効果ガス排出量（当該年度－3年度）			目標	36.1		35.9	35.7			
	単位 万t-CO2				実績	36.3		32.3	31.4			
	指標	住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム補助金交付件数			目標	40		40	50	55		
	単位 件				実績	41		47	52	55		
	指標				目標							
	単位				実績							
C (評価)	取組評価											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）		B. 概ね目標を達成している（達成率80%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）			
A (行動)	2次評価	備考										
	次年度以降の対応											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
2次評価	次年度への方 向性	B. 維持（コストを同程度に維持する）		B. 維持（コストを同程度に維持する）		A. 拡充（コストを増加させる）		B. 維持（コストを同程度に維持する）				
	備考											

概要 (P l an)	事業概要												
	管理番号	45	事務事業名	可燃ごみ広域処理施設整備事業	総合計画体系	章 2	節 3	分野 2	施策 IV-3,+1-6	重点P 総コスト 137,108			
	事業概要	環境衛生センター甘南備園ごみ焼却施設に代わる環境負荷の少ない新たなごみ処理施設の整備						担当所属	ごみ広域処理推進課				
	取組実績												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	事業計画	粗造成工事			粗造成工事 (枚方京田辺環境施設組合による施設建設)			枚方京田辺環境施設組合による施設建設(負担金) 市道甘南備園1号線整備		枚方京田辺環境施設組合による施設建設(負担金) 市道甘南備台1号線整備			
	事業実績	○敷地粗造成工事請負契約締結 (令和2・3・4年度継続施行) ○施設建設地の用地取得			○敷地粗造成工事着手			○敷地粗造成工事完了		・枚方京田辺環境施設組合による施設建設(負担金) ・市道甘南備台1号線道路整備工事請負契約締結			
					年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	指標		施設建設地の用地取得			目標	100.0		—	—			
	単位	%				実績	100.0		—	—			
	指標		粗造成工事の出来高			目標	10.0		30.0	100.0			
	単位	%				実績	0.0		40.0	100.0			
	指標					目標							
	単位					実績							
	取組評価												
C (評価)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	1次評価	達成度	C. 目標を達成していない (達成率80%未満)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)						
A (行動)	2次評価	備考	粗造成工事について、環境影響評価に係る猛禽類才オタ力の保全措置に伴い現場工事着手を遅らせたため。										
			次年度以降の対応										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	2次評価	次年度への方 向性	A. 拡充 (コストを増加させる)		A. 拡充 (コストを増加させる)		A. 拡充 (コストを増加させる)		A. 拡充 (コストを増加させる)				
	備考	敷地粗造成事業について、環境影響評価に基づく自然保護措置及び対策を行いながら、工程調整を行い、継続して実施していく。			敷地粗造成事業について、環境影響評価に基づく自然保護措置及び対策を行いながら、工程調整を行い、継続して実施していく。			和5年度から工事に着手したが、令和6年度から建築物本体工事及びプラント設備工事が本格化するため。					

概要 (Plan)		事業概要												
		管理番号	180	事務事業名	産業基盤整備事業	総合計画体系	章	節	分野	施策	重点P	総コスト		
事業概要	大住工業専用地域拡大事業を促進するなど、基盤整備を進めるとともに、京都府などと連携した企業誘致を促進し、自主財源の確保と雇用を創出。事業環境の整備を推進								担当所属	産業振興課				
取組実績														
	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度				
事業計画														
事業実績	○土地区画整理組合設立支援 ・総会への出席 ・役員会への出席、技術的助言等（月1回以上） ・主要役員、事務局との協議（随時） ・業務代行予定者・進出希望企業との協議（随時） ・業務代行予定者への発注業務の見積書審査、完了検査の立会 ・関係機関協議（公共施設管理者、都市計画手続き）									○				
取組 (Do)				年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度				
				指標	組合施行の市街地開発事業の事業化		目標	組合設立認可						
単位	一				実績	組合設立認可								
単位					目標									
単位					実績									
単位					目標									
単位					実績									
取組評価														
C (評価)		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		1次評価	達成度	A. 目標を達成している（達成率100%以上）										
A (行動)														
		2次評価	備考											
次年度以降の対応														
A (行動)		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		2次評価	次年度への方 向性	F. 完了 (コストをゼロとする)										

概要 (P l an)	事業概要													
	管理番号	175	事務事業名	市民・企業連携推進事業	総合計画体系	章 5	節 5	分野 3	施策 IV-5	総コスト 4,513				
	事業概要	市民との交流を通じ、産業の活性化を図ることを目的にイベントなどを開催するとともに、市民と市内企業との相互理解を進めることで、域内での人材サイクルを構築						担当所属	産業振興課					
	取組実績													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市民まつりに参画する商工会を支援する。 シゴトニアを開催し、市内事業者の活動を市民に紹介する。 			<ul style="list-style-type: none"> 市民まつりに参画する商工会を支援する。 シゴトニアを開催し、市内事業者の活動を市民に紹介する。 			<ul style="list-style-type: none"> 市民まつりに参画する商工会を支援する。 シゴトニアを開催し、市内事業者の活動を市民に紹介する。 						
	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○京田辺市産業祭2020 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のため中止 ・京田辺市産業祭は実行委員会にて「令和2年度をもって終了とし、今後は市民まつりへ参画すること」を決定 			<ul style="list-style-type: none"> ○京田辺市民まつり2021 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のため中止 			<ul style="list-style-type: none"> ○京田辺市民まつり2022 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者のべ5万人（1日あたり2万5千人） ○シゴトニア <ul style="list-style-type: none"> ・来場者1,500人、出展者18団体 			<ul style="list-style-type: none"> ○シゴトニア <ul style="list-style-type: none"> ・来場者2,346人、出展者13団体 ○田辺高校連携事業(工場見学、ものづくり体験・企業交流会等) ・実施件数11件、参加者191人、参加企業39社 ○企業の魅力発見バズツアード <ul style="list-style-type: none"> ・参加者7人、訪問企業4社 ○働くキヨウタナビト事業 <ul style="list-style-type: none"> ・紹介企業4社 ○夏休み親子工場見学会 <ul style="list-style-type: none"> ・参加100名 			
					年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	指標	産業祭来場者数			目標	16,000		16,000						
	単位 人				実績	0		0						
	指標	田辺高校連携事業実施件数			目標				10	10				
	単位 回				実績				11	11				
	指標	シゴトニア来場者数			目標				1,500	1,500				
	単位 人				実績				1,500	2,346				
	取組評価													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	1次評価	達成度	C 目標を達成していない（達成率80%未満）		C 目標を達成していない（達成率80%未満）		A 目標を達成している（達成率100%以上）		A 目標を達成している（達成率100%以上）					
		備考	新型コロナウイルス感染症拡大により産業祭等を中止したため		新型コロナウイルス感染症拡大により市民まつり等を中止したため									
	次年度以降の対応													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	2次評価	次年度への方 向性	A. 拡充（コストを増加させる）		A. 拡充（コストを増加させる）		C. 縮小（コストを減少させる）		B. 維持（コストを同程度に維持する）					
		備考	商業分野も組み入れた(仮)市民まつりの開催などにより、総合的な市域の賑わいを創出し、産業及び農業部門などの地域振興を推進していく。		たなフェスの開催等を通じて、賑わいを創出し、産業及び農業などの地域振興の推進を図る。									